

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

中之島公園に2万人、国会周辺4万人

9条改憲を許さない!

戦争も、核兵器も、辺野古新基地もいらない



プラカードを突き上げる参加者

.....
日本国憲法の公布71年を迎えた11月3日、9条改憲を許さない!11:3おおさか総がかり集会が中之島公園芝生広場(大阪市北区)で開催されました。秋晴れの中、市民団体・労働組合・野党など市民約2万人が参加しました。大障教の参加者は12分会22人でした。
.....

若者を戦争に駆り立てる空気がつくられている

主催者あいさつを行った米田彰男さん「戦争させない1000人委員会・大阪」共同代表

表)は、「9条改憲反対統一署名の3千万目標達成へ、大きく運動を組織していこう」と呼びかけました。

ゲストスピーチした評論家の佐高信さん「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」

発起人は、17歳で海軍に志願した作家の城山三郎さんが「今考えて見ると志願ではなく(社会や国家に強制されていたのだ」と述べたことを紹介しました。そして、今まさに、安倍政権によってそういう空気がつくられている「私たちは、改憲の問題も含めて、安倍政権を下からひっくり返さねばならない」と訴えましたが。

市民と野党の共同で改憲ストップ!

集会には、4野党の代表が参加し、それぞれあいさつしました。日本共産党の辰巳孝太郎参議院議員は、総選挙で共産党が現有議席を守れなかったことについて、我々の力不足を痛感している」とした上で、安倍政権に対抗する立憲野党全体が躍進したことを心から喜びたい」と述べました。

「自由党の渡辺義彦元衆議院議員は、」野党の2500万票に対して野党は3000万票あった。だから民意では勝っている」として、「党利党略・私利私欲を捨てて、新たな野党共闘のスタートを切っていきたい」と述べました。

立憲民主党の辻元清美衆議院議員は4野党が結束して実質審議を要求した結果39日間の国会会期を確保できたことを紹介し、これから本番。大きなうねりになっていくように力を合わせていきたい」と訴えました。

参加者は「コールに合わせて一斉に「憲法こわすな!戦争アカン!」のプラカードを突き上げ、集会後3コースに分かれて繁華街をパレードしました。

11月3日は、安倍政権による9条改憲に反対する行動が全国各地で行われました。国会周辺で行われた包囲大行動には4万人(主催者発表)が集まりました。立憲民主党・民進党・日本共産党・社民党の代表や、落合恵子(作家)さん、香山リカ(精神科医)さん、五十嵐(法政大学名誉教授)さんなどがスピーチし、国会内外が力を合わせ、改憲発議そのものを阻止しよう」と訴え

ました。

韓国で朴槿恵政権を退陣に追い込む市民運動にかかわった金泳鎭さんは、「9条が改正されれば、周囲の国家は軍拡の方向に行き、アジアは軍拡の悪循環に入ってしまう」9条を守ることは、アジアと世界にとって重要な問題です」と訴えました。

総選挙で改憲勢力が3分の2を超え議席を確保したことで、改憲に反対する国民の意思を明確に示す1日となりました。



書記局の
ひりりごと

辺野古の米軍新基地建設に抗議する市民を監視するための海上警備費が、1億9千万円近く過大に算定されていたことが、会計検査院の指摘で明らかになりました。会計検査院が調査したのは、2015年7月から16年10月までの間に、防衛省沖縄防衛局が、警備会社ライジングサンセキュリティサービスと結んだ3件の海上警備業務契約です。船やカヌーで工事に抗議する人たちの警備にあたるもので、現場の業務は100%沖縄県にある子会社が請け負っています。

会計検査院の報告書によると、沖縄防衛局は警備員の労務費算定にあたり、業務内容の特殊性を考慮し、警備業者側が見積もった1日9時間あたり3万9千5百9千400円という労務単価をそのまま採用していました。通常と同じ時間当たりの単価は、高くて2万5千円程度ですから、その約2倍の額が警備員の労務費として算定されたことになりました。

しかし、実際の業務は警備員に特殊な技能等を求めるものではなく、制限区域内に近づくなどに対して、立ち入らないよう注意するなど一般的な内容でした。会計検査院は、警備業者からの見積もり単価をそのまま採用しているのは不適切だとして、海上警備費は、当初の額より1億8千800万円減らせると指摘しました。海上警備の委託を受けた警備会社は、抗議する市民の顔写真を撮り、名前を記したリストをつくるという人権侵害まで行っていました。沖縄防衛局が新基地建設のためそうした業者の言い値で発注し、税金を浪費していることに対して、住民からは強い怒りの声があがっています。

ブロック別
学習会
シリーズ

中南河内ブロック教育のつどい

「そつだ！先輩に聞こう」

3本のレポート発表

9月2日(土)、八尾市の山本コミュニティセンターにて、第2回中南河内ブロック教育のつどいがありました。東大阪、藤井寺、西浦、八尾の4分会から12人の参加がありました。

「そつだ！先輩に聞こう」「私の教育実践報告」と題してレポートされました。初めて転勤の経緯や新たな職場の感想など爆笑トークを交えながら、自らの歩みを「家庭で取り組むあいうえお」など聴覚支援学校での実践を生き生きと語られました。



西浦支援学校分会葛和さん



レポート報告を聞く参加者



次は東大阪支援学校分会の養護教諭の中野先生から、「子どもの心とくらしに向き合う」ご飯日誌を通して」と題し、肥満の子どもの指導を話されました。日誌の交換を軸に家庭や学校医・栄養教諭・教科との連携、手作り教材などの実践をていねいに話されました。

最後は、藤井寺支援学校

分会の田崎先生が、「子どもの権利保障と教師の仕事・学校の役割について」と題して話されました。30年の教員生活を振り返り、若き日の失敗を率直に語りながら、「子どもや先輩教師、組合との出会い、そして読書が自らの成長の大きな糧になった」と報告されました。質疑・交流では、「とてもいい話が聞けた」「若い先生を中心に参加へのとりくみを強めたい」という声が多く上がりました。続きは場所を移しての夕食交流会へとなりました。

分会紹介

分会名：堺聴覚支援学校分会

分会長：森 訓

障害種別：聴覚障害

児童生徒数：75人

どんな分会？：季節の変化をいっぱい感じさせてくれる緑、可愛い草花、小鳥、虫...時には夕又きを発見できる環境バツグンの学び舎です。

生後数ヶ月の赤ちゃんから、部活動で心も体もグングン伸び盛りの中学生が大阪府南部の地域から通って来ます。

聴こえないことで日本語の獲得が難しく、生活言語も学習言語も思うように積み重ならない...。聴覚障害教育は「手話」と思われがちですが、本校の子どもたちは、おしゃべり大好きでにぎやかです。先生たちも口をハッキリ開けて大きな声でわかりやすく話しかけています。

ICT機器も有効活用しています。

分会は青年が半数に近づき、新しい時代を迎えています。ベテランも教育実践の悩みなどを語り合ったり、学習会に参加して一緒にがんばっていますよ！

第11回

学ぶなら 今こそつながろう
光り輝く 子どもたちの未来のために

第17回 全国障害児学級 & 学校 学習交流集会 in 奈良

日程：1月6日(土)～8日(月)

6日：全体会(奈良県文化会館国際ホール)

7日：講座・分科会(奈良教育大学)

8日：教育フォーラム(奈良教育大学)

私は昨年の学級学校 in 北海道でレポートを出しました。参加者の皆さんは私の話を真剣に聞いて、とりくみ等に温かい意味付けをしてくれました。全国の先生と関われる素敵なチャンスです！ぜひみんなで奈良へ行きましょう！

参加費・交通費・宿泊費
補助があります！



吉松 薫
(光陽支援学校分会)